

Human Movement Course in OsakaKaisei Hospital

平成 21年8月1日(土), 2日(日)、大阪回生リハビリテーション研究会主催の Human Movement Course を開催致しました。

大変お忙しい中、ボバース記念病院より ボバース国際インストラクター 理学療法士の土井鋭二郎先生にお越し頂き、ボバース概念、そして今回のテーマであるヒューマンムーブメントについて教授頂きました。

【講習会プログラム】

8月1日

- 講義 「ヒューマンムーブメント」
 - 「姿勢筋緊張」
 - 「姿勢運動制御」
- 実技 「How to touch, Kibler test」
 - 「背臥位～側臥位」
 - 「端座位⇔起座⇔側臥位」

8月2日

- 実技 「端座位」
 - 「立位・歩行」
- 評価と治療のデモンストレーション

2日目の「評価と治療のデモンストレーション」では、患者様にもご協力頂き、講師土井先生による評価・治療場面を見学しました。弛緩と過緊張、安定性と運動性の関係やその原因についての細かな評価が印象的でした。

【講義場面】



講義では、ポバース概念や、テーマである『ヒューマンムーブメントをなぜ学ぶのか』『姿勢筋緊張』や『姿勢運動コントロール』についてお話をいただきました。

【実技場面】



講義内容にそくした評価・実技を行っていただきました。8グループにわかれて土井先生、アシスタントの先生方にそれぞれご指導いただきました。

各実技における検査ではキブラーテスト、アングラーテストを行い、動的な場面での体幹回旋や代償動作の評価を学びました。

質疑応答も活発で多くの意見交換の場となり、大変充実した2日間となりました。

土井鋭二郎先生、アシスタントの先生方、ご協力頂きました患者様、全国各地から御参加くださいました受講生の皆様、本当に有難うございました。